

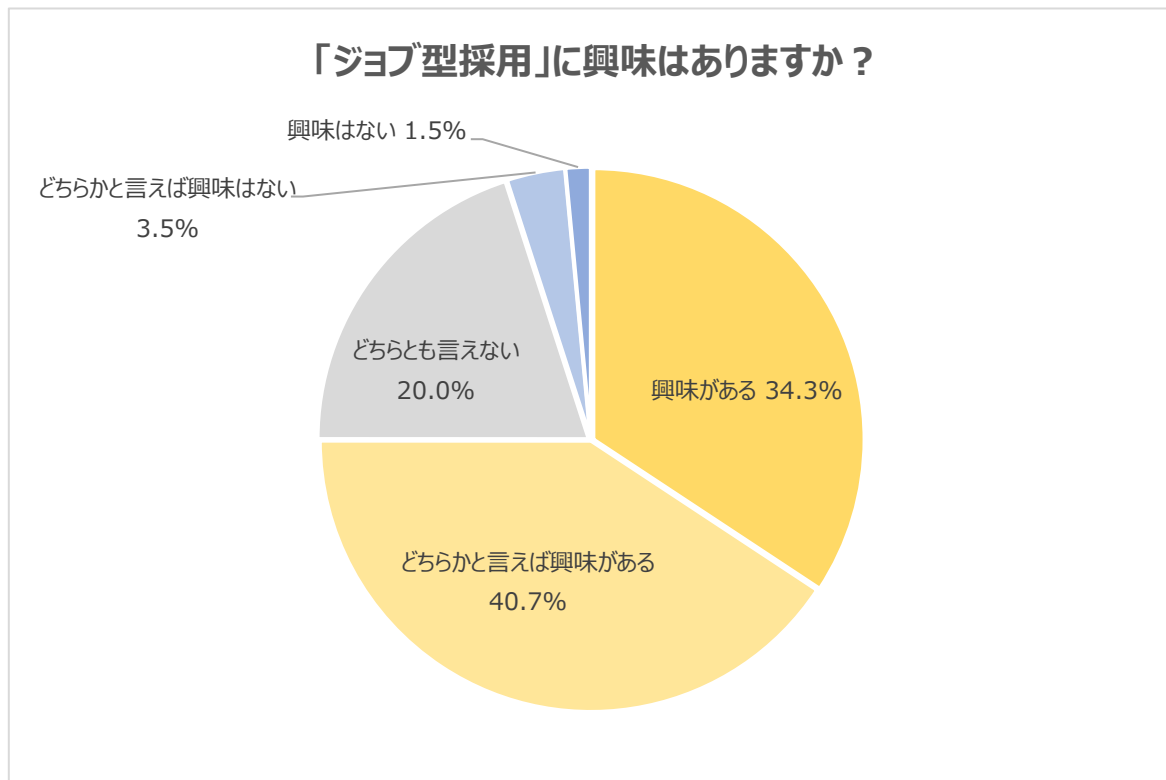
【2023年卒】「ジョブ型採用」に興味のある学生が75.0%。「入社後の職種や仕事が決まっていたら、早めに社会人になる準備ができると思う」「ミスマッチがないと思う」の声。

株式会社学情は、2023年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、就職活動に関するインターネットアンケートを実施。今回は、「ジョブ型採用」に関して調査しました。ジョブ型採用について、75.0%の学生が「興味がある」と回答。「希望の職種で入社できるほうが、キャリア形成をしやすいと思う（文系・クリエイティブ系職種希望）」「入社後の職種や仕事が決まっていたら、早めに社会人になる準備ができると思う（文系・企画系職種希望）」「仕事内容が明確なほうが、ミスマッチがないと思う（理系・技術系職種希望）」などの声が挙がっており、現時点で「希望の仕事」が明確な学生や、「就職後」を見据えている学生が、特に「ジョブ型採用」に興味を持っていると推察されます。また、83.9%の学生が「ジョブ型」のインターンシップへの参加を希望すると回答しており、実際に仕事を体験することで、仕事の理解を深めたいと考えている学生が多いことが分かります。

【TOPICS】

- (1) 「ジョブ型採用」に興味のある学生が75.0%
- (2) 「ジョブ型採用」に興味を持っている理由は、「どんな仕事をするかが明確だから」が63.6%で最多
- (3) 「ジョブ型採用」を実施している企業があれば、プレントリーしたいと考えている学生が71.1%
- (4) 「ジョブ型」のインターンシップへの参加を希望する学生が83.9%

(1) 「ジョブ型採用」に興味のある学生が75.0%



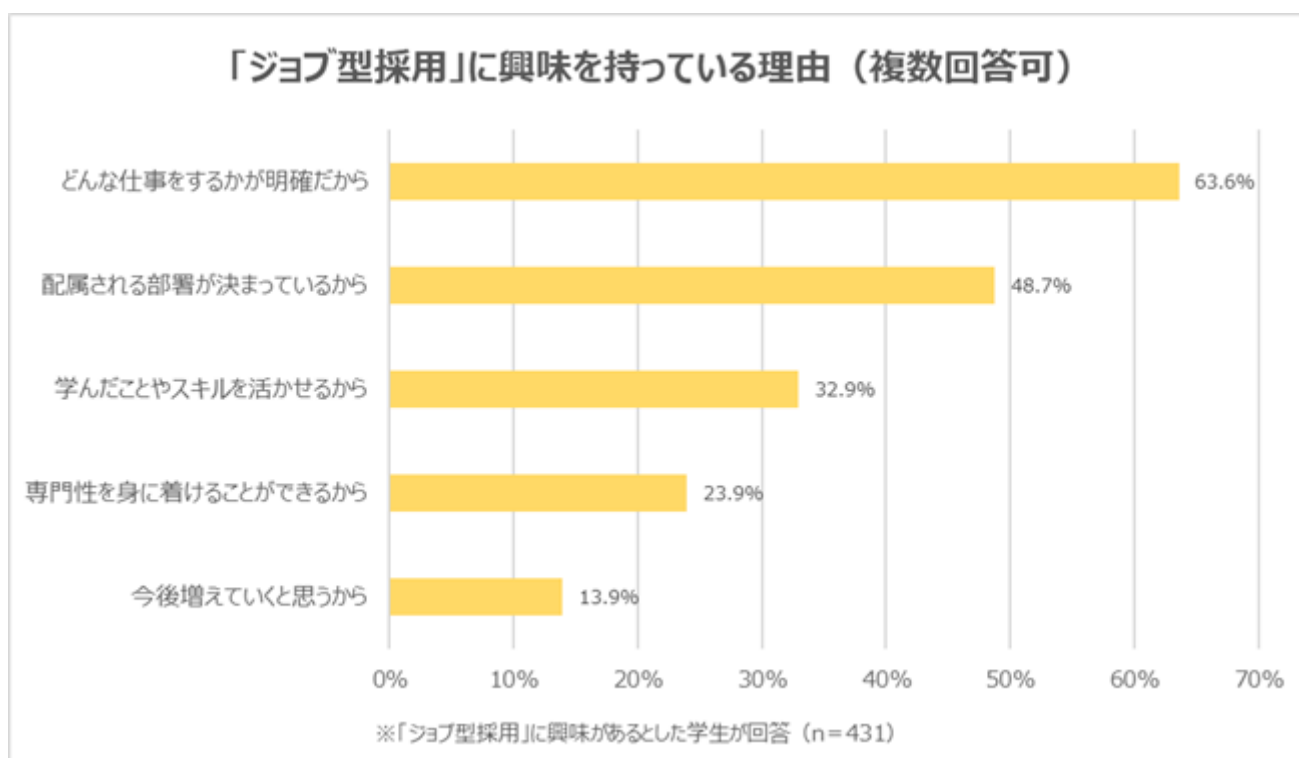
ジョブ型採用について、「興味がある」と回答した学生が34.3%、「どちらかと言えば興味がある」と回答した学生が40.7%となりました。75.0%の学生が、「ジョブ型採用」に興味を持っていることが分かります。

「希望の職種で入社できるほうが、キャリア形成をしやすいと思う（文系・クリエイティブ系職種希望）」「入社後の職種や仕事が決まっていたら、早めに社会人になる準備ができると思う（文系・企画系職種希望）」「仕事内容が明確なほうが、ミスマッチがないと思う（理系・技術系職種希望）」などの声が挙がっており、現時点で「希望の仕事」が明確な学生や、「就職後」を見据えている学生が、特に「ジョブ型採用」に興味を持っていると推察されます。

■学生の声

- ・希望の仕事に就けそう（文系・IT系職種希望）
- ・希望の職種で入社できるほうが、キャリア形成をしやすいと思う（文系・クリエイティブ系職種希望）
- ・仕事内容が明確なほうが、ミスマッチがないと思う（理系・技術系職種希望）
- ・自分の得意分野で仕事ができそう（文系・事務系職種希望）
- ・入社後の職種や仕事が決まっていたら、早めに社会人になる準備ができると思う（文系・企画系職種希望）
- ・ジョブ型採用を実施する企業は、変化に柔軟で成長力が高そう。（理系・IT系職種希望）

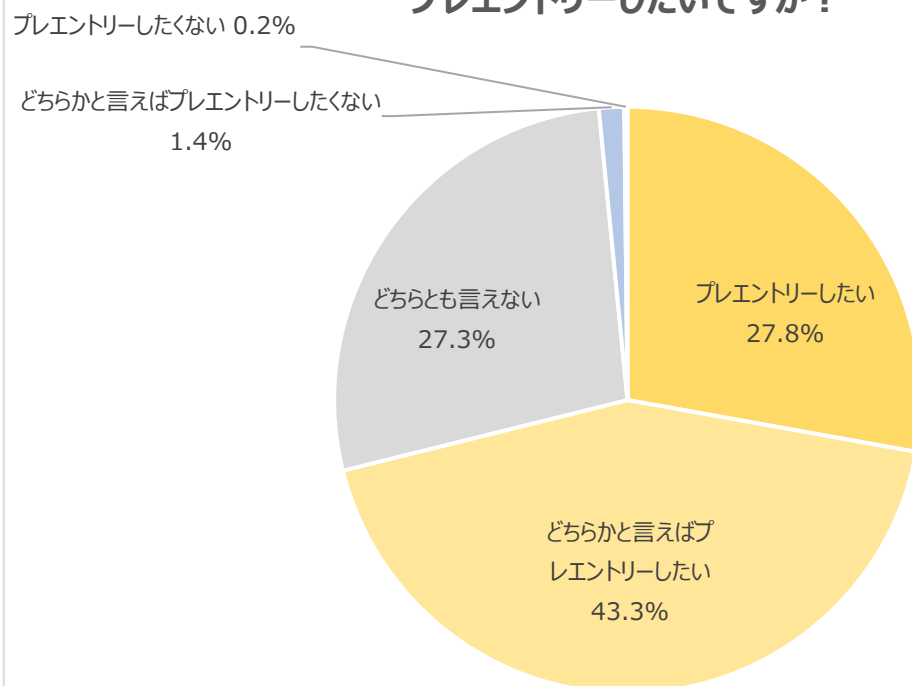
(2) 「ジョブ型採用」に興味を持っている理由は、「どんな仕事をするかが明確だから」が63.6%で最多



「ジョブ型採用」に興味をもっている理由は、「どんな仕事をするかが明確だから」が63.6%で最多。次いで、「配属される部署が決まっているから」48.7%、「学んだことやスキルを活かせるから」32.9%と続きます。

(3) 「ジョブ型採用」を実施している企業があれば、プレエントリーしたいと考えている学生が71.1%

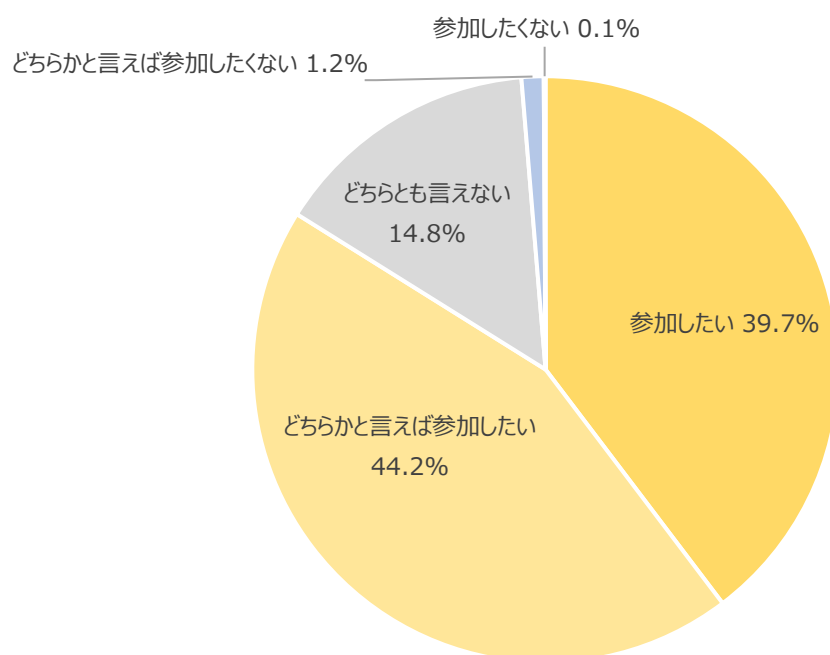
「ジョブ型採用」を実施している企業があれば、 プレエントリーしたいですか？



「ジョブ型採用」を実施している企業があれば、「プレエントリーしたい」「どちらかと言えばプレエントリーしたい」と回答した学生が、71.1%に上りました。7割を超える学生が、「ジョブ型採用」で募集している求人、実際にプレエントリーしたいと考えていることが分かります。

(4) 「ジョブ型」のインターンシップへの参加を希望する学生が 83.9%

職種別に、具体的な仕事を体験できる 「ジョブ型」のインターンシップがあれば、参加したいですか？



「ジョブ型」のインターンシップに「参加したい」「どちらかと言えば参加したい」と回答した学生は、83.9%に上りました。「ジョブ型」のインターンシップを希望する学生からは、「希望している仕事に、自身の適性があるかを確認したい（文系・企画系職種希望）」「仕事を具体的に経験できると、働くイメージを持ちやすい（文系・クリエイティブ系職種希望）」「実際に体験できると、志望理由も明確になると思う（理系・企画系職種希望）」などの声が寄せられました。実際に仕事を体験することで、仕事理解を深め、実際に希望している仕事で自身が活躍することができそうか確認したいと考えている学生が多いと伺えます。

コメント：株式会社学情 営業部門担当執行役員 歌津智義

「ジョブ型採用」は、テレワークで「担当領域」や「目指す成果」を明確にする必要が増していることと連動し、コロナ禍で注目を集めています。また、経団連は雇用形態について、新卒採用でも「ジョブ型採用」を推進するとしており、2023年卒採用では「ジョブ型採用」の導入が加速すると想定されます。

「ジョブ型」での就職を希望する学生は、希望する「仕事」が明確になっており、「入社後」を見据えて就職活動に取り組んでいる傾向です。企業は、「ジョブ型採用」を導入することで、目的意識が強く、働く意欲の高い学生や、該当の仕事に適性のある学生を採用しやすくなると言えるでしょう。「ジョブ型採用」の導入は、企業の成長力や生産性を高めるための手立ての1つになると考えられます。

■調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2023（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・調査方法：Web 上でのアンケート
- ・調査期間：2021年4月21日～2021年5月17日
- ・有効回答数：575名

東証一部上場

学情



10820003(12)